

ふたたび戦争と暗黒政治を許すな 共謀罪法案に反対します

治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟 2017年5月22日



写真上は、記者会見する左から杉浦正男、松本五郎、菱谷良一、水谷安子の各氏。下段は左から横路孝弘、仁比聡平、森ゆうこ国會議員。



国会請願署名20万4000余筆を提出 犠牲者が“共謀罪”に怒りの記者会見



No.516

治安維持法犠牲者
国家賠償要求同盟
編集発行人 田中幹夫

〒113-0034 東京都
文京区湯島2-4-4
平和と労働センター・全労連会館
電話 03(5842)6461
FAX 03(5842)6462
E-mail
chian@bz03.piala.or.jp
頒価 50円

主な記事

- 国会請願行動の集会
 - 増本会長挨拶、4氏の記者会見
 - 私も一言／飯田美弥子（弁護士）
 - 顕彰碑探訪／織田秀雄
 - 抵抗の群像／末永敏事
 - 同盟文芸／短歌・俳句・川柳
- 7 6 5 4 3 2

「共謀罪」衆院で採決強行 増本会長の抗議談話を官邸に送付

憲法違反の共謀罪法案を衆院法務委員会で行採決（5月19日）直後の22日、第44回目の国会請願をおこない、全国から180人が参加。20万4000余筆の請願署名を持って500人超の衆・参両院議員事務所を訪問し要請しました。

集会では犠牲者の杉浦正男（102歳）、松本五郎（96歳）、菱谷良一（95歳）、水谷安子（103歳）の4氏があいさつ。民進党の横路孝弘衆院議員、日本共産党の仁比聡平、自由党の森ゆうこ両参院議員が駆けつけ、激励のあいさつを受けました。

犠牲者4氏は国会内で怒りの記者会見を開き、報道陣に「戦時中の突然逮捕や獄中の経験」を述べ、「何としても共謀罪を廃案にしたい」と力を込めて訴えました。NHKテレビ、同ラジオはニュース番組で紹介、東京・赤旗などが写真入りで大きく報道しました。

第38回全国大会（6月8〜9日）では、「共謀罪を参院で廃案めざし全力をあげよう」「憲法施行70年、安倍首相の憲法9条改悪を阻止しよう」「2018年創立50周年を2万人の同盟建設で意気高く迎えよう」の3本の特別決議を採択しました。「ふたたび戦争と暗黒政治を許すな」国民の期待に応える強固な同盟を建設しようではありませんか。

民進・共産・自由党 9議員が激励に

国会請願に全国から180人が参加



治安 国会館大会議室で国会請願出発集
維持法 会を開催。45都道府県から180
犠牲者 人が、請願署名20万4000余筆
国家賠 をもって参加しました。
償要求 矢島恒夫副会長の司会で開会。
同盟中 増本一彦会長が挨拶した後、治安
中央部 維持法犠牲者の杉浦正男さん(1
は5月 02歳、千葉県)、松本五郎さん
22日、 (96歳、北海道)、菱谷良一さん
衆議院 (95歳、同)、水谷安子さん(1
第一議 03歳・神奈川県)のみなさんが、

東京都議会議員選挙へのご支援を

東京都議会議員選挙は、6月23日告示、7月2日投票で
行われます。築地移転問題、
都民の暮らしにとって重要な
選挙になっています。前回の
都議選で日本共産党など民主
勢力の前進が、市民と野党の
共同を実現し、参議院選挙で
の前進をかちとりました。

今回の都議選は、憲法を守
り、共謀罪法
案に反対する
勢力の躍進で、暴走を続ける
安倍政権にノーの審判を下す
絶好の機会であり、衆議院選
挙での躍進につながる全国的
意義をもっています。
全国の同盟員の皆さん、東
京の知人、友人に働きかけて
いただくよう物心両面でのご
支援をお願いします。

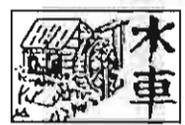
東京都本部会長 吉田 万三

治安維持法による弾圧の実態を告
発しました。

激励に駆け付けた民進党の横路
孝弘衆議院議員は、冒頭、母親が
野呂栄太郎の妹であることを紹介、
野呂は治安維持法で投獄され、1
934年獄死。「当時の特高課長・
奥野誠亮は戦後、法務大臣や文部
大臣に就任し、戦前・戦中の責任
は何も問われていない。治安維持
法犠牲者への謝罪と賠償の実現を」
と訴えました。

日本共産党の仁比聡平参議院議
員は、治安維持法下の闘いの伝統
は今も生きている。先週「未来の
ための公共」等の学生たちが共謀
罪を許すなど1万人で国会を包囲
し「説明できない法案通すな！」
とコール。「共謀罪を必ず廃案に
追い込もう」と力説しました。

森ゆうこ参議院議員は、自由党
を代表してあいさつに來ましたと
述べ、「かつて『新たな戦前』
ということが言われたことがある
が、そんなことを許してはならな
い。共謀罪を参議院で必ず阻止し
ましょう」と決意表明しました。
(3ページへつづく)



類が外れるほどの
驚きが続いている。

九条改憲も共謀罪の
強行採決も2020
年の東京オリンピックに
合わせるのだと。加計学園・
獣医学部新設への付度疑惑。そ
して、森友学園の幼稚園児が暗唱
させられた「教育勅語」の光景だ
▼1890(明治23)年に発布さ
れたこの旧憲法下の教育方針は、
敗戦後の48(昭和23)年に失効確
認の国会決議がされた「亡霊」の
はずだ。「夫婦仲良く」「親孝行」
の徳目を挙げ「いいところがある」
とそうぞぶく▼筆者の父の遺品に、
昭和9年の尋常小学校高等科の卒
業証書の1ページに「教育勅語」
があつて、坊主頭の父らが整列し
ている。「一旦緩急あれば一身を
皇室国家のために尽くせ」と教え
られ、愛国少年たちは徴兵検査の
のち戦線に送られた。父の所属し
た部隊は南方の地で全滅したとい
う▼憲法九条の3項に自衛隊(国
軍)を明記する改憲案。海外派兵
し再び他国を侵略しようとたくら
む安倍首相よ。死んでいった将兵
の怨嗟の声を聴きなさい。

類が外れるほどの
驚きが続いている。
九条改憲も共謀罪の
強行採決も2020
年の東京オリンピックに
合わせるのだと。加計学園・
獣医学部新設への付度疑惑。そ
して、森友学園の幼稚園児が暗唱
させられた「教育勅語」の光景だ
▼1890(明治23)年に発布さ
れたこの旧憲法下の教育方針は、
敗戦後の48(昭和23)年に失効確
認の国会決議がされた「亡霊」の
はずだ。「夫婦仲良く」「親孝行」
の徳目を挙げ「いいところがある」
とそうぞぶく▼筆者の父の遺品に、
昭和9年の尋常小学校高等科の卒
業証書の1ページに「教育勅語」
があつて、坊主頭の父らが整列し
ている。「一旦緩急あれば一身を
皇室国家のために尽くせ」と教え
られ、愛国少年たちは徴兵検査の
のち戦線に送られた。父の所属し
た部隊は南方の地で全滅したとい
う▼憲法九条の3項に自衛隊(国
軍)を明記する改憲案。海外派兵
し再び他国を侵略しようとたくら
む安倍首相よ。死んでいった将兵
の怨嗟の声を聴きなさい。

(澤)

(2ページからつづく)

〔増本一彦会長あいさつ〕 (要旨)

たくさんの請願署名を携えて、参加された各地の代表のみなさん、ご苦勞さまで。また全国各地で治安維持法犠牲者に対する国の謝罪と賠償を求める国会請願署名を集める活動にご尽力された会員の

治安維持法の再来「共謀罪」は許されない

犠牲者4氏が記者会見

同盟が国会請願した5月22日、治安維持法で弾圧、投獄された犠牲者4氏が高齢をおして初めて国会内で記者会見



しまし。新聞、通信社、テレビ局の記者を前に「共謀罪03歳」は、富山女子師範学

みなさんと家族のみなさん、そして請願署名運動にご協力くださった団体のみなさんに、この場を借りて、心からお礼を申しあげます。今日に備えて健康を維持されて遠く北海道から菱谷さん、松本さん、千葉県から杉浦さん、神奈川県から水谷さんが参加してくださつ

ております。お三人さんは、創立50周年記念映画『種まく人びと』の主演者であり、2017年のアカデミー賞にノミネートされてもよい方たちです。今日は、午後、犠牲者の立場から「共謀罪の強行採決に抗議し、反対する」記者会見も予定しております。

校で社会科学書を所持したことで検挙され、学校も退学。「治安維持法でその後も2度逮捕された。こんな理不尽なことが二度とないように」と。北海道旭川市の菱谷良一さん(95歳)と同・音更町の松本五郎さん(96歳)は、旭川師範学校5年生の時、美術部で生活をリアルに描く「生活図画」教育をうけたことが危険思想だとして共に逮捕され、

刑事務所に長期拘留。「共謀罪は姿、名前を変えた治安維持法」(菱谷)、「密告・身辺調査がおこなわれ、内心の自由を奪われた」(松本)と警鐘を鳴らしました。(写真は、松本氏の逮捕理由となった油絵)

さて、今回、国会に提出する署名運動は、各地で昨年実績から見ても後れがあつて、たいへん苦戦しました。昨年は夏に参議院選挙があつて出足が後れました。また戦争法廃止・集団的自衛権行使容認議院決定撤回の運動があり、衆議院選挙をにらんだ市民と野党の共同の推進の活動があり、今年に入ると共謀罪粉碎の運動があつて、これらの運動と「謝罪と賠償要求」署名運動とを結びつけて展開するという方針が十分に貫徹できませんでした。最終盤まで、中央本部和各都道府県が協力して奮闘しました。心から敬意を表します。

共謀罪の国会情勢は、ご承知のとおりです。5月19日付で「強行採決に断固抗議する」会長声明を出しました。この法案は少なくとも法務委員会に差し戻して徹底審議を行うべきなのです。

同盟中央本部は、共謀罪粉碎のパンフレットを出し、『種まく人びと』のDVDを制作して普及に取り組み、各地で学習宣伝活動を展開しました。

(4ページへつづく)

(3ページからのつづき)

「不屈」5月号で発表した、第38回大会議案書では、同盟創立50周年を迎え、犠牲者の次世代である私たち同盟が担うべき2つの任務を明らかにしました。

第1は、治安維持法等犠牲者である先達たちが切り開いた「犠牲者に対する謝罪と賠償要求」運動

が、拷問、虐殺、獄死、性的暴力など

をともなった権力犯罪の告発と結びついていること、しかも犠牲者の一括救済を求めた「治安維持法犠牲者等国家賠償特別法」(仮称)の制定要求が歴史的にも画期的な

人権闘争であること、私たち次世代はこの歴史的で画期的な人権闘争を受け継ぎ発展させることです。

第2は、治安維持法犠牲者等が

生命を賭して侵略戦争に反対し平和と民主主義のために闘い抵抗した歴史の成果である両性の平等にもとづく国民民主主義、戦争の放棄と国際平和主義、基本的人権尊重主義を柱とする憲法を守り発展させるために、創造的な運動を構築することです。

築することです。



この原稿を書いてい

論も硬化した。

る現在、共謀罪法案は既に衆議院本会議で強行採決され、審議

氏から、プライバシーに関する権利と表現の自由に対する過度の制限になり得るとして強い懸念が表明されたのに対し、政府は怒りを表明し

ている。掲載されるのは会期末直前だ。どうなっているのかと気が揉める。

共謀罪にしがつく政府与党

弁護士 飯田 美弥子

ただで、反論は一つもなかったという(5月22日付同氏の日

本政府に対する反論)。

治安維持法犠牲者の皆さんには、共謀罪法案がいかに危険なものか、多言を要しないだろう。

国際社会から注意を受けながら、それを認めず、居直る姿勢は誠に恥ずかしい。国際連盟の議場から退場した日本代表団が思い出される。同じ過ちを繰り返してはならない。

マスコミも遅まきながら法案反対の論調を強め、強行採決によって世

(八王子合同法律事務所)

国会請願行動は、この2つの任務の実践です。同盟の運動は、まさにわが国近現代史の総括に深くかかわっています。請願署名運動のマンネリズムの克服がいわれておりますが、ぜひとも第38回全国大会議案の討議を深めてくださるようお願いいたします。

昨年の国会請願では、通常国会と秋の臨時国会を含め紹介議員の要請は、みなさんの努力や田中幹夫中央本部事務局長の奮闘があったので、99名の紹介議員を得ることができました。お名前は『治安維持法と現代』2017年春季号に掲載しました。

今年さらには紹介議員の数を増やして、これらの紹介議員のみなさんのご意見を伺いつつ「国家賠償法案の要綱」を作成するようにしたいと考えております。

激励に駆けつけた

国会議員のみなさん

日本共産党衆議院議員山和也、同梅村さえこ、同畑野君枝、同本村伸子、同清水忠史の各氏。
日本共産党参議院議員山添拓氏。

秘も一言

顕彰碑 探訪

プロレタリア文芸団体「岩手共人会」つくった 織田秀雄

織田秀雄は1908（明治41）

年、岩手県胆沢郡小山に生まれ、小学校教員となった。「忠君愛国甲の上／親に孝行甲の上／おいらをだます通信簿／こんなものには用がない」の詩や童謡を書き、民話の収集など土着の文化を大切にした文学者であった。全国農民芸術連盟の支部を結成したことで水沢署に留置され、教員を退職した。

1931年にプロレタリア文芸団体「岩手共人会」をつくる



と、これが「岩手共産党」の結成とでつちあげられ、翌年多数の文芸仲間とともに治安維持法違反で検挙され、

投獄2年の刑を受けた。地元では「明治の啄木、大正の賢治、昭和の秀雄」と評する人もあつたが、治安維持法違反のそしりをうけたまま1942年、貧困と病気がもとで逝く。34歳。

1970年代から顕彰運動が起こり、顕彰する会が結成され、地元にあつた治安維持法の偏見を払しょくして、2008年12月10日の生誕100周年に生地の地域交流館公園に顕彰碑が建立された。

除幕式には地元住民を中心に90人を超える参加者があつた。碑の表に織田秀雄作「百姓人形」の詩、裏に経歴と「800余名の協力金による」と刻む。

いまは織田秀雄をテーマにした奥州市民劇が上演されるなど、広く顕彰活動が行われている。（織田秀雄を顕彰する会事務局・同盟胆江支部長 穴戸書雄）

竹中彰元を訪ねる旅

同盟滋賀県本部女性部は4月19日、「反戦僧侶、竹中彰元を訪ねるワンデーツアー」を開催。大津、草津、湖北の各地から22人が参加。明泉寺正門横に、「戦争は罪悪である 竹中彰元師の寺」の石碑。明泉寺第17代住職貞昭さんは、彰元が「兵戈無用」、「四海兄弟」、「懺悔」と、日中戦争期に説いて罪に問われ、70年後によりやく復権、顕彰されたと振り返り、共謀罪反対のいまこそ、彰元を思い出してほしいと語る。（「不屈」滋賀版2017年5月号）



憲法をつくった江別の人

えべつ9条の会は4月15日、総会を開催。宮田汎同盟道本部会長が「日本国憲法をつくった江別ゆかりの人びと」を講演、たたかいと抵抗の14人について語る。島田マツ（旧姓高山、1906―?）。

江別生まれ。札幌通信局事務員。全協労組婦人部。『女人芸術』読者会組織。1930年12月1日、全協弾圧で検挙。樋口鶴雄（1910―1933）。札幌通信局通信事務員。全協労組札幌地区協議会委員長。1933年4月4日検挙。9月8日虐殺。（「不屈」北海道版2017年5月号）

「共謀罪」反対緊急国会行動でスピーチする、吉田万三都本部会長

同盟都本部は、共謀罪反対国会前緊急集会に5月17日、三役会議後、同盟のゼッケン、のぼり旗をたてて参加。吉田万三会長が「共謀罪は憲法が保障する内心の自由を奪う現代版治安維持法。廃案以外にない」とスピーチ。



「良いお話を有難う」の激励を受けました。

抵抗の群像



権力に一人で立ち向かった信念の人

末永 敏事

1938(昭和13)年10月4日、クリスチャン医師・末永敏事は時の戦争国家・日本に対して不服従の意思を通告した。51

歳の信念の人は逮捕され投獄された。そして外見的には不遇の、しかし神の前に義とした人として彼は58歳の生涯を従容として終えた。この一途な生き方は彼の残された数少ない文章の中で鮮明に表明されていた。

「たえざる進歩の信仰生涯にありては、其の臨終が其の人の結論である事、文章の結論に於けるが如し……。然しながら、又、人の生涯は渾然たる一天地を為す事、一群の山嶽の如く、其の人の神の光に照らされて感じ、思ひ、言ひ且つ行った所が即ち山嶽の雲上に聳えて天を摩する所、此が其の人の最高、最前、最大の所であって、真正の

意味に於て、其人のエッセンス、其人の結論に却つて此所に在るといふべきである」(『無教会』第12号・1932年4月)

末永は1887年4月13日、あの「天草・島原の乱」の地・島原半島の北有馬村(現・南島原市北有馬町)で代々医を業とする家に生まれ育った。尋常小学校を出て上京、青山学院中等科で学び、キリスト教の影響を受ける。

帰郷して長崎医学専門学校(現・長崎大学医学部)卒業後、植民地・台湾で病院に勤務。そして渡米しシカゴ大学、シンシナティ大学で研究生生活を送る。世紀の難病・結核の研究では当時の第一線にいたといわれる。

帰国後、故郷で医院を開業。そして茨城県の白十字会保養農園に勤務中、前出の「不服従宣

言」となる。

『特高月報』では、彼の発言は次のとおり。「…茲に拙者が反戦主義者なる事、及び軍務を拒絶する旨通告する」(1938年10月分)さらに翌年1月分には進行中の日中戦争について「日支事変は…日本から仕掛けた侵略戦争である。…東洋平和の為であると云ふて居るが事実は侵略戦争である。…小生、軍備全廃論者なるが故に陸海軍入団と関係あることを酷しく嫌ふ。次に民主主義者なるが故に特権階級、例令ば皇室、貴族、富豪等との関係あるを拒否する」

ついに彼は陸軍刑法の造言蜚語の罪と不敬罪で獄につながれ、国賊・非国民という汚名を着せられた。故郷でも話題にするのも憚られて、真実は蔽われたまま70年の年月が流れていった。しかし神は敏事を再び蘇らせた。2014年、末永家の集まりで家系図の前に「敏事は戦争反対のために獄死したらしい」との話が出た。それから遺族や

わが同盟中央本部藤田廣登氏の弛まぬ調査で翌年、上述の真相が判明した。さらに、この事実は地元の名新聞社も動かし、16年6月から78回に及ぶ長期連載「反戦主義者なること通告申し上げます」が実現した。

犠牲者の大部分は孤独の中で命を落とし、光を当てられることもなかった。敏事は埋もれたまま、忘れ去られてしまった無数の人たちの一員だ。その生涯は今も断片しか分からない。でも彼は確かに生きていた。名もなく消えていった人たちがまだいる。敏事はそれを教えてくれた。

今、彼の故郷を流れる有馬川の河畔には400年も前のキリシタン弾圧を忘れまいと大きな十字架が陽光を浴びて輝いている。そしてこの同じ地に末永敏事を讃え、そしてわれわれ彼の意志を継ぐ者を励ますための記念碑が建つ日もそう遠くはないであろう。

(力武晴紀 長崎県事務局長)

治安維持法下の闘いと弾圧・抵抗を描く
追真のドキュメンタリー完成!



種まく人びと
治安維持法下の闘いと弾圧・抵抗を描く
追真のドキュメンタリー完成!

治安維持法が、当時どのような時代に制定され、どのような意味を
持ったのか、犠牲者の方の証言も踏まえて

犠牲者の証言で恐ろしさを認識 闘いを引き継ぎたい



もよくわかる内容でした。私はこれまで、治安維持法の犠牲者の方の話を聞く機会がありませんでしたが、組合運動や絵を描くだけで逮捕・検挙されるなど、私たちの身近にある活動を取り締まりの対象になる実態をみて、治安維持法の具体的な恐ろしさを初めて認識しました。犠牲者と国民に大きな傷を残した治安維持法を、政府が悪法だったと認め、謝罪・賠償を行うことは火急な課題だと改め

辺野古阻止「諦めない」県民集会

5月27日、米軍キャンプ・シユワブのゲート前で「辺野古新基地建設阻止『R9護岸工事を止めろ』環境破壊を許さない県民集会」が開催された。主催は、「辺野古新基地を造らせないオール沖縄会議」、2000人が参加した。

沖縄県民の意思を無視し、岩礁破砕許可の期限が切れた4月以降も工事を進める政府の姿勢に怒りの声を上げた。

玉城愛オール沖縄会議共同代表は「表面で起きていることだけで

はなく、歴史の文脈で沖縄がどう置かれてきたか、県民、国民が一緒に考えるべきだ。知事と名護市長を支えながら頑張っていこう」と訴えた。

事務局日誌

- 5月3日 平和といのち人権を！ 憲法集会
- 5月15日 「平和の権利」実行委員会
- 5月16日 各党へ国会請願への挨拶要請
- 同日 国際人権活動日本委員会代表者会議
- 5月30日 会計監査

て感じました。

また、権力がどんなに自由や民主主義を抑圧しようとも「種火は残った」と語っていたことが印象的でした。今、安倍政権が戦争する国づくりをすすめる、共謀罪法案の成立も狙っていますが、こうした逆流に立ち向かって、自由と民主主義を求めて闘ってこられた先達の意思をひき継いでいくことが大事だと思います。(佐々木平・民主青年同盟東京都委員会)

2017年春季号

『治安維持法と現代』

好評発売中



【主な内容】国会請願(16年度)の紹介国会議員一覧。「治安維持法」と共謀罪=内田博文。安倍政権による憲法破壊と沖縄の今=小林武。福島はいまー線量計を担いで=安斎育郎。若者の貧困と「経済的徴兵制」=布施悠仁。<エッセイ>「反戦主義者なる事……通告申し上げます」森永玲。与謝野晶子の反戦童話。日本唯一の革新正義の詩吟の会。(実証・治安維持法下の弾圧)東北大学一学生運動を中心に=柳原敏昭。日本共産党第3回大会と米沢共産党事件=後藤太刀味。兵庫県における闘いと弾圧の歴史=戸崎曾太郎。内山愚童の仏教社会主義=上山慧など。A5判定価1000円、申込みは中央本部・各都道府県本部へ。

治安維持法と現代を結ぶ運動理論誌 企画・編集 治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟



号外

治安維持法犠牲者
 国家賠償要求同盟
 編集発行人 田中幹夫

〒113-0034 東京都
 文京区湯島2-4-4
 平和と労働センター・全労連会館
 電話 03(5842)6461
 FAX 03(5842)6462
 E-mail
 chian@bz03.plala.or.jp
 頒価 50円

写真は、上段左から
 横路孝弘、仁比聡平、
 森ゆうこの各氏。
 中段は集会であいさ
 つする増本会長。
 下段は、共謀法反対
 で記者会見する治安
 維持法犠牲者の4氏



署名へのご協力ありがとうございました
 全国から180人の代表・20万4千余筆の署名を提出
 治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟中央本部
 会長 増本一彦

私たちはみなさまにご協力いただきました「治安維持法犠牲者等に対する国の謝罪と賠償」を求める国会請願署名20万4千余筆を持って5月22日、衆参両院議員事務所を訪問して、紹介議員をお引き受けいただくよう要請行動を行いました。

請願要請行動には、全国各地から180人の代表が参集しました。なかでも、治安維持法による弾圧犠牲者である水谷安子（103歳）、杉浦正男（102歳）、松本五郎（96歳）、菱谷良一（95歳）の各氏が参加し、衆議院法務委員会で強行採決された「共謀罪」法案に反対する記者会見を国会内で行い、NHKテレビ、同ラジオをはじめ新聞などで報道されました。

また集会には、民進党の横路孝弘衆議院議員、日本共産党の仁比聡平参議院議員、自由党の森ゆうこ参議院議員等が参加し、熱い激励の挨拶をいただきました。

安倍暴走政治に反対する世論の高まりと野党と市民の共同の前進する政治情勢を反映して、これまでになく充実した行動となりました。

私たちの運動は、戦前の政府の誤りを認め、謝罪するまでつづきます。彼ら先達たちの生命を賭して侵略戦争に反対し平和と民主主義、働く者のくらしの向上のために闘い抵抗した歴史を国権の最高機関である国会が正当に評価することを求めてまいります。

これからも、みなさま各位のいっそうのご協力を心からお願ひ申し上げます。